

平成26年度 環境活動レポート

活動期間 平成26年4月～平成27年3月



有限会社 そおりサイクルセンター

発行 平成27年4月30日

有限会社 そおりサイクルセンター

環境方針

私たちは、豊かな恵みを育む美しく雄大な大隅山系と志布志湾を望む地にあって、より積極的に環境保全に取り組み、地球に優しく、地域環境を守り、地域社会に貢献していくという大きな使命と責任を持ち、当社の事業を推進してまいります。

主事業として、一般・産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理を行うにあたり、地域社会に信頼される企業であり続けるため、具体的な目標をもって事業に取り組みます。

<行動指針>

1. 環境法令・条例等の法的要求事項やその他の要求事項を順守します。
2. 省エネルギー、資源の有効利用を目指して、環境負荷削減に取り組みます。
 - (1) 電力消費並びに収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 使用原材料の省資源、廃棄物の4Rの推進
 - (3) 水資源の節水
 - (4) 有害な化学物質の管理
 - (5) 原材料及び事務用品のグリーン調達
 - (6) 環境負荷を削減するリサイクル技術・廃棄物処理技術の推進による製品の販売
 - (7) 地域社会の環境活動への積極参加と地域環境保全の推進これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
3. 環境保全のための従業員教育を積極的に行います。
4. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日：2009年4月1日

改訂日：2012年4月1日

有限会社 そおりサイクルセンター

代表取締役社長 宮地 光弘

I. 事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者名

有限会社 そおりサイクルセンター
代表取締役 宮地 光弘



本社工場（そおりサイクルセンター）

2. 事業場

(1) 本社工場（そおりサイクルセンター）
〒 899-7301
鹿児島県曾於郡大崎町菱田1218番地48

(2) 大崎有機工場

〒 899-8313
鹿児島県曾於郡大崎町野方5473番地



大崎有機工場

(3) 松山有機工場

〒 899-7601
鹿児島県志布志市松山町尾野見1973番地



松山有機工場

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：原 優一
環境管理事務局：湯地 浩幸
連絡先 TEL 099-471-6050
FAX 099-477-2612
E-mail info@gomizero.info

4. 事業内容（登録の範囲）

- ・一般廃棄物収集運搬業（委託・事業系）
- ・一般廃棄物処理業（資源リサイクル） 本社工場
- ・一般廃棄物処理業（堆肥化） 大崎有機工場・松山有機工場
- ・産業廃棄物収集運搬及び処理業 本社工場

5. 創業

- ・平成10年9月1日

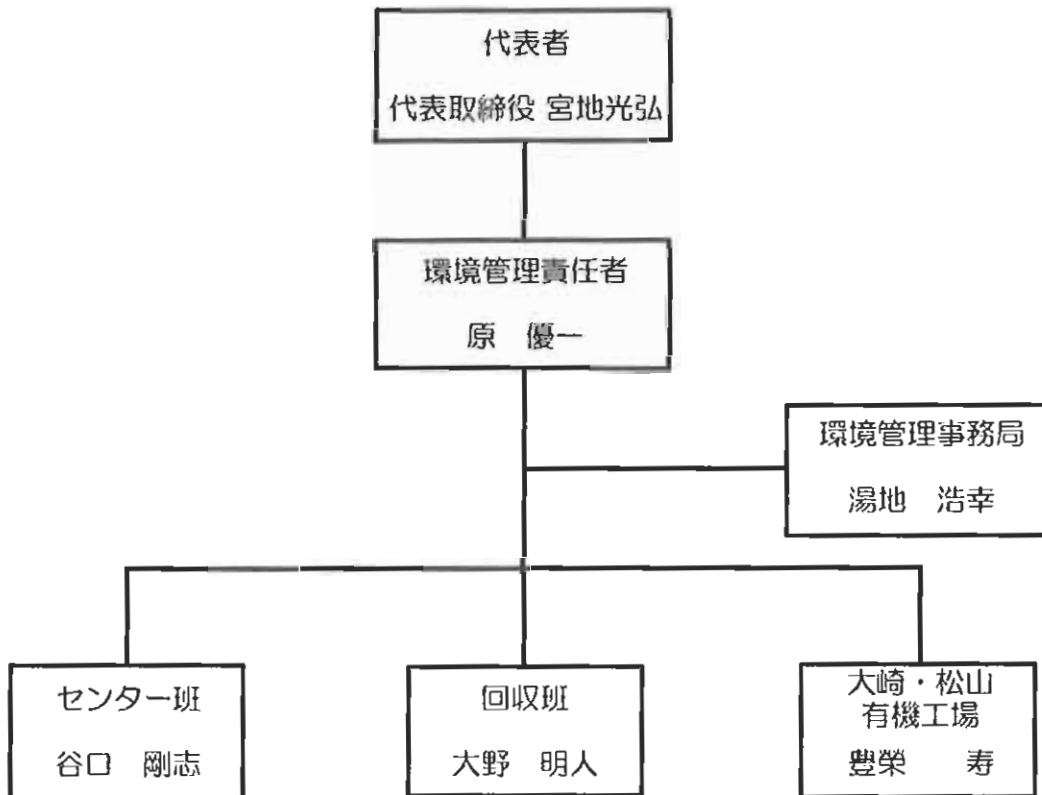
設立

- ・平成14年7月1日

6. 事業規模

資本金	5百万円	
従業員	55名（アルバイト・シルバー含む）	
売上高	244百万円（平成26年7月～平成27年6月）	そおりサイクルセンター
売上高	22百万円（平成26年7月～平成27年6月）	大崎有機工場
売上高	64百万円（平成26年7月～平成27年6月）	松山有機工場

7. 環境管理組織体制



8. 事業許可の内容

※ 廃棄物処分業及び収集運搬関係

曾於市（大隅衛生企業 有限会社）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 許可第102号
- 許可年月日：平成25年10月8日～平成27年10月15日
- 業 種：一般廃棄物収集運搬業
- 取扱品目：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・生ごみ

曾於市（有限会社 そおりサイクルセンター）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 曾市許可第103号
- 許可年月日：平成26年2月19日～平成28年2月15日
- 業 種：事業系一般廃棄物収集運搬業
- 取扱品目：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・生ごみ

鹿屋市（大隅衛生企業 有限会社）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 鹿屋市指令生（ごみ）第9号
- 許可年月日：平成25年12月1日～平成27年11月30日
- 業 種：一般廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物の種類：ごみ

志布志市（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 志市第929号

許可年月日：平成27年4月1日～平成29年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：資源ごみ・生ごみ・事業系ごみ・粗大ごみ・一般ごみ・草木剪定枝

志布志市（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物処理業許可証 許可番号 志市第458号

許可年月日：平成26年9月13日～平成28年9月12日

業種：一般廃棄物処理業

取扱品目：生ゴミ・草木剪定枝・農集汚泥・廃油・し尿

大崎町（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物収集運搬業許可証

許可年月日：平成27年4月1日～平成29年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：資源ゴミ

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物収集運搬業許可証

許可年月日：平成27年4月1日～平成29年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：一般ごみ・生ごみ・粗大ごみ

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理業許可証

許可年月日：平成27年4月1日～平成29年3月31日

業種：一般廃棄物処理業（中間処理施設・破碎を含む）

取扱品目：空缶・ペットボトル・その他プラ・古紙・乾電池・蛍光灯他

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理業許可証

許可年月日：平成26年4月1日～平成28年3月31日

業種：一般廃棄物処理業（堆肥化）

取扱品目：生ゴミ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃リ第2号

許可年月日：平成23年7月28日

業種：ごみ処理施設（破碎施設）

取扱品目：生ごみ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃リ第1号

許可年月日：平成23年7月28日

業種：ごみ処理施設（破碎施設）・（堆肥化施設）

取扱品目：生ごみ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃リ第4号の7

許可年月日：平成26年12月5日

業種：木くずの破碎施設

取扱品目：木くず

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃リ第4号の3
許可年月日：平成23年7月28日
業 種：木くずの破碎施設
取扱品目：木くず

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物処分業許可証 許可番号 04627019803号
許可年月日：平成27年4月7日～平成32年4月6日
業 種：中間処理（堆肥化）
取扱品目：汚泥・廃油・廃酸・木くず・動植物性残さ・動物の糞尿

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物処分業許可証 許可番号 04626115223号
許可年月日：平成26年12月28日～平成31年12月27日
業 種：中間処理（圧縮）・（破碎）・（石炭化）
取扱品目：廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・
陶磁器くず・木くず・廃油

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 04610019803号
許可年月日：平成26年6月6日～平成31年6月5日
業 種：産業廃棄物収集運搬業
取扱品目：廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・木くず等

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 04619115223号
許可年月日：平成24年6月22日～平成29年6月21日
業 種：中間処理（圧縮）・（破碎）・（石炭化）
業 種：産業廃棄物収集運搬業
取扱品目：廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・木くず等

9. 施設等の状況

そおりサイクルセンター



収集運搬バッカー車 11台



トラック 10台



フォークリフト等 4台

中間処理施設：プラスチック圧縮機、空缶プレス機、ペットボトル圧縮機、廃油燃料装置等



廃油燃料（BDF）製造装置



プラスチック減容機



PET減容機

大崎・松山有機工場



堆肥化車両 タイヤショベル 4台



ユンボ 1台



破碎機 2

他に、フォークリフト、バキューム車、ダンプ等多数

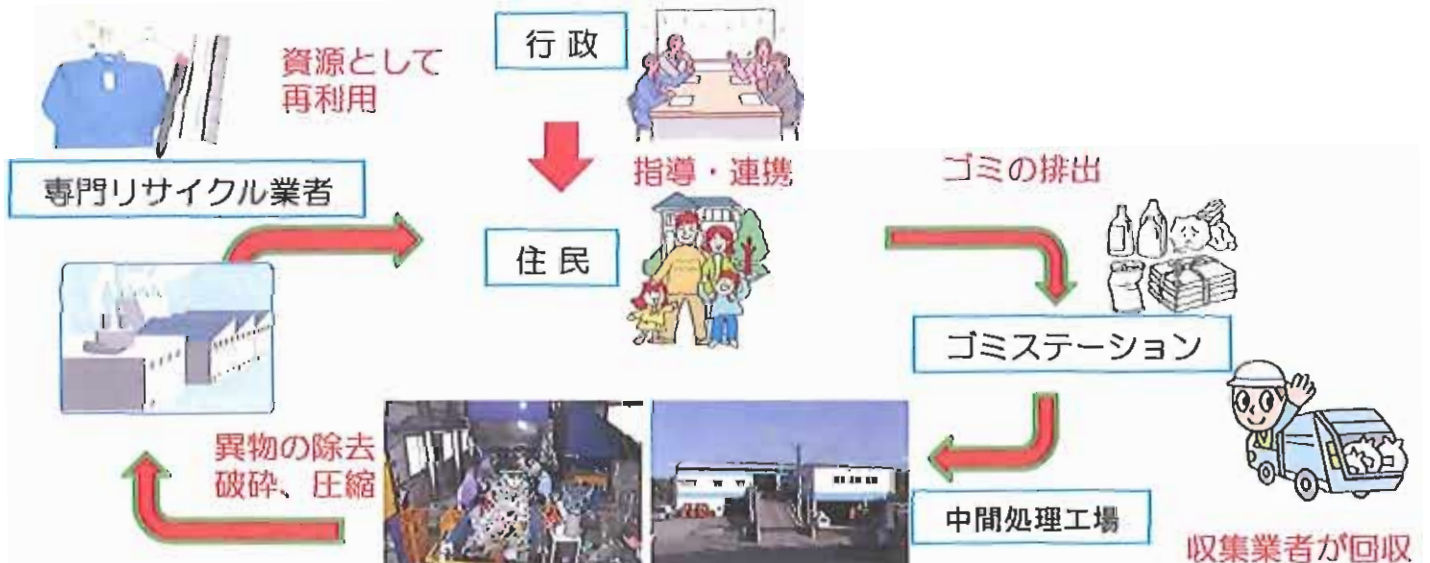
10. そおりサイクルセンター事業概要

住民・行政・そおりサイクルセンターが協働で、曾於市・志布志市・大崎町の一般廃棄物の収集運搬と中間処理を行っています。処理能力は約10万人規模の施設となっています。

- ・一般廃棄物の収集、運搬及び中間処理場、最終処分場の運営、管理業務
- ・産業廃棄物の収集、運搬及び中間処理場、最終処分場の運営、管理業務
- ・堆肥の製造、販売
- ・有機飼料、有機肥料の製造および販売
- ・培養土、腐食土の生産、加工、販売



志布志・大崎町の資源リサイクルのシステム



分別品目とリサイクル製品

収集・運搬・分別		専門リサイクル業者		
1. 空き缶類 アルミ缶 スチール缶	→ プレス機で圧縮	→ アルミ製品材料 鉄骨、建築資材	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;"> 廃棄物の約8割が資源として再利用されています </div>	
2. 生きピン	→ プレス機で圧縮	→ 酒造メーカー再利用		
3. 茶ピン		→ 茶ピン・防犯砂利		
4. 透明ピン		→ 透明ピン・防犯砂利		
5. その他ピン		→ タイル・土木建築資材・ビー玉・おはじき等		
6. ペットボトル		→ 服・軍手・卵パック等		
7. ダンボール	→ プレス機で圧縮	→ ダンボール		
8. 新聞・チラシ		→ 新聞等		
9. 雑誌・雑紙		→ 雑誌等 雑誌・ダンボール		
10. コピー用紙		→ ティッシュ等		
11. シュレッダー紙		→ トイレトーパー等		
12. 紙パック		→ ティッシュ等		
13. 紙箱・包装紙類		→ 下ボール・雑誌等		
14. その他の紙製容器・包装紙・袋		→ 固形燃料		
15. 蛍光灯		→ 化学反応		→ ガラス・金属・水銀に分けて再生
16. 乾電池				→ 金属・有害物質に分けて再生
17. 古布	→ プレス機で圧縮	→ ウェス		
18. 廃食油		→ 軽油代替燃料、石鹸		
19. プラスチック類		→ プラスチック製品材料		
20. スプレー缶		→ 溶かして金属製品		
21. 雑金属		→ 溶かして金属製品		
22. 割りばし		→ 堆肥		
23. 陶器類		→ 路盤材		
24. 小型家電		→ 各種金属、プラはRPF		
25. 生ごみ		→ 堆肥		
26. 一般ゴミ		→ 埋立		
27. 粗大ゴミ	→ 手作業による分別 金属・木製品・その他	→ 資材、固形燃料、埋立		

事例 プラスチックリサイクルの流れ



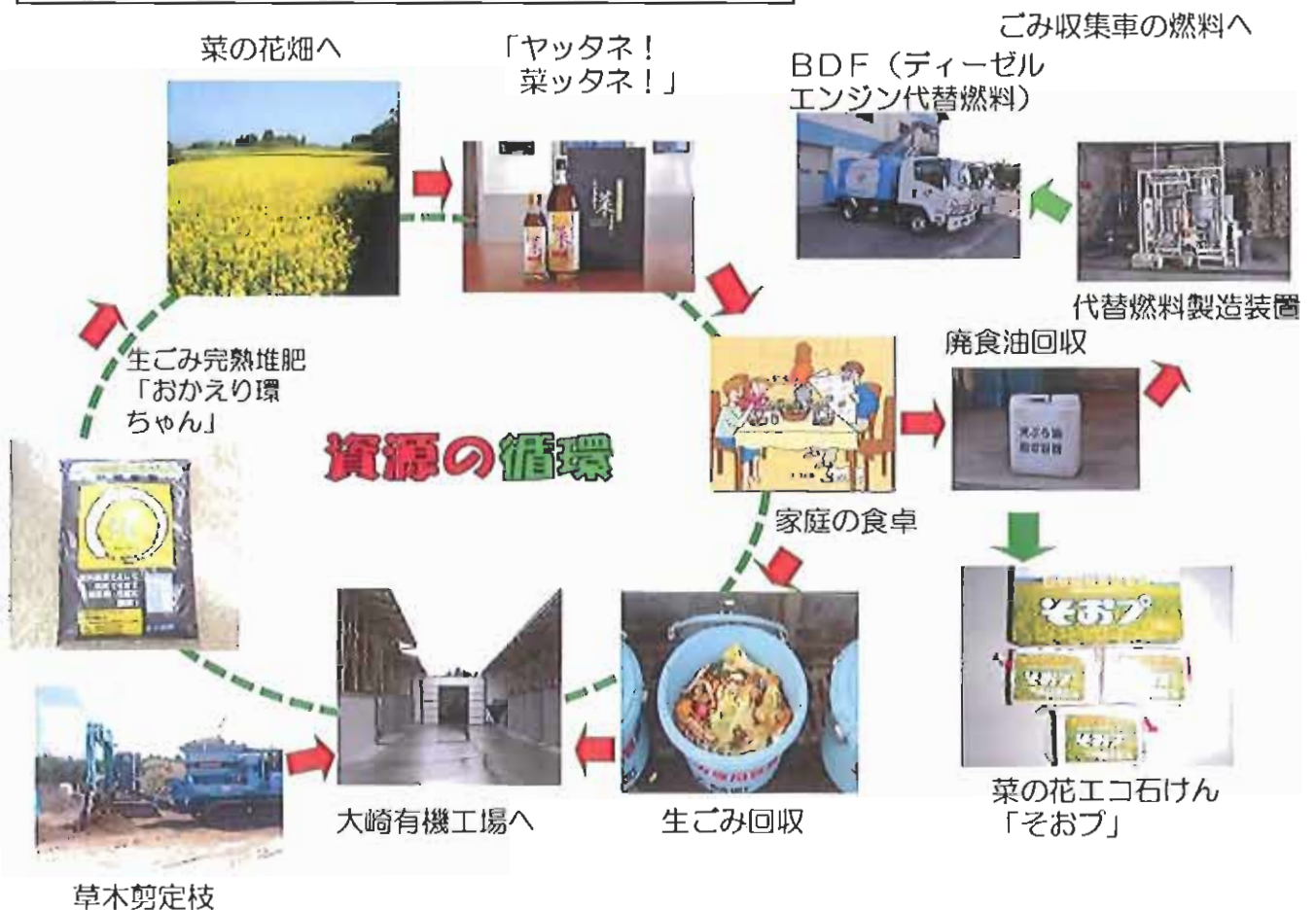
その他の中間処理装置・設備



事例 生ごみ堆肥化の流れ



事例 菜の花エコプロジェクト



II. 平成26年度環境目標とその実績（そおりサイクルセンター）

当社における平成24・25年度（平成24年4月～平成26年3月）までの実績を把握し、平成26年4月～平成27年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成24・25年度	平成26年度	
			H24/4～H26/3	H26/4～H27/3	
			実績 (基準値)	評価	
				12ヵ月目標	12ヵ月実績
CO ₂ 排出量	燃料使用量	kg-CO ₂	247,025	244,555 基準年比▲1.0%	203,099 基準年比▲18.0%
	電気使用量	kg-CO ₂	83,042	82,212 基準年比▲1.0%	75,532 基準年比▲10.0%
廃棄物	一般廃棄物 ※1	kg	424.7	420.5 基準年比▲1.0%	424.5 基準年比▲0.1%
水資源	水使用量	m ³	1,436	1,422 基準年比▲1.0%	1,145 基準年比▲21.0%
環境配慮 資材購入	事務用品 のグリーン 購入割合	%	36.0	37.8 基準年比5.0%増	56.9 基準年比58.0%増
環境配慮 製品の 開発販売	エコ石鹸 売上	円	37,730	38,107 基準年比1.0%増	42,310 基準年比12.0%増

※1：自社ごみ・リサイクルごみ

・電気のCO₂換算係数 0.617kg-co2/kwh

・平成27年度から平成28年度までの目標

項目		単位	平成27年度	平成28年度
			H27/4～H28/3	H28/4～H29/3
			環境目標（平成24・25年度比）	環境目標（平成24・25年度比）
CO ₂ 排出量	燃料使用量	kg-CO ₂	243,319 ▲1.5%削減	242,084 ▲2.0%削減
	電気使用量	kg-CO ₂	81,796 ▲1.5%削減	81,381 ▲2.0%削減
廃棄物	一般廃棄物 ※1	kg	416.2 ▲2.0%削減	412.0 ▲3.0%削減
水資源	水使用量	m ³	1,407 ▲2.0%削減	1,393 ▲3.0%削減
環境配慮 資材購入	事務用品 のグリーン 購入割合	%	39.6 10.0%増加	41.4 15.0%増加
環境配慮 製品の 開発販売	エコ石鹸 売上	円	38,485 2%増加	38,862 3%増加
有害な化学物質の管理			毎月の保管庫・残量の確認	毎月の保管庫・残量の確認
地域社会貢献			週2回のゴミ拾いボランティア	週2回のゴミ拾いボランティア

II. 平成26年度環境目標とその実績（大崎有機工場）

当社における平成24・25年度（平成24年4月～平成26年3月）までの実績を把握し、平成26年4月～平成27年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成24・25年度	平成26年度	
			H23/4～H26/3	H26/4～H27/3	
			実績 (基準値)	評価	
				12ヵ月目標	12ヵ月実績
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	76,990	76,220 基準年比▲1.0%	67,153 基準年比▲13.0%
	電気 使用量	kg-CO ₂	49,638	49,142 基準年比▲1.0%	41,966 基準年比▲16.0%
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	204.4	202.4 基準年比▲1.0%	245.2 基準年比19.0%増
水資源	水使用量	m ³	150	149 基準年比▲1.0%	115 基準年比▲24.0%
環境配慮 製品の 開発販売	生ゴミ堆 肥売上	万円	71.0	72.0 基準年比2.0%増	69.9 基準年比▲2.0%

※1：自社ごみ・リサイクルごみ
・電気のCO₂換算係数 0.617kg-co2/kwh

・平成27年度から平成28年度までの目標

項目		単位	平成27年度	平成28年度
			H27/4～H28/3	H28/4～H29/3
			環境目標（平成24・25年度比）	環境目標（平成24・25年度比）
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	75,835 ▲1.5%削減	75,450 ▲2.0%削減
	電気 使用量	kg-CO ₂	48,894 ▲1.5%削減	48,646 ▲2.0%削減
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	200.3 ▲2.0%削減	198.3 ▲3.0%削減
水資源	水使用量	m ³	147 ▲2.0%削減	146 ▲3.0%削減
環境配慮 製品の 開発販売	生ゴミ堆 肥売上	万円	74.0 4.0%増加	75.0 6.0%増加
環境配慮資材購入			そおりサイクルセンターと共通	
有害な化学物質の管理			有害な化学物質の使用なし	有害な化学物質の使用なし
地域社会貢献			週2回のゴミ拾いボランティア	週2回のゴミ拾いボランティア

II. 平成26年度環境目標とその実績（松山有機工場）

当社における平成24・25年度（平成24年4月～平成26年3月）までの実績を把握し、平成26年4月～平成27年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成24・25年度	平成26年度	
			H24/4～H26/3	H26/4～H27/3	
			実績 (基準値)	評価	
				12ヵ月目標	12ヵ月実績
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	124,949	123,700 基準年比▲1.5%	96,713 基準年比▲23.0%
	電気 使用量	kg-CO ₂	98,600	97,614 基準年比▲1.5%	78,249 基準年比▲21.0%
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	大崎有機工場と共通		
水資源	水使用量	m ³	水資源は使用しない為、水使用量は無し		
環境配慮 製品の 開発販売	生ゴミ堆 肥売上	万円	99.0	101.0 基準年比2%増	76.4 基準年比▲23.0%

※1：自社ごみ・リサイクルごみ
・電気のCO₂換算係数 0.617kg-co2/kwh

・平成27年度から平成28年度までの目標

項目		単位	平成27年度	平成28年度
			H27/4～H28/3	H28/4～H29/3
			環境目標（平成24・25年度比）	環境目標（平成24・25年度比）
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	122,450 ▲2.0%削減	121,201 ▲3.0%削減
	電気 使用量	kg-CO ₂	97,121 ▲2.0%削減	96,628 ▲3.0%削減
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	大崎有機工場と共通	
水資源	水使用量	m ³	水資源は使用しない為、水使用量は無し	
環境配慮 製品の 開発販売	生ゴミ堆 肥売上	万円	103.0 4.0%増加	105.0 6.0%増加
環境配慮資材購入			そおりサイクルセンターと共通	
有害な化学物質の管理			有害な化学物質の使用なし	有害な化学物質の使用なし
地域社会貢献			週2回のゴミ拾いボランティア	週2回のゴミ拾いボランティア

Ⅲ. 平成26年度環境活動計画の主要内容及び評価と次年度の取り組み

	リサイクルセンター	大崎工場	松山工場
1.二酸化炭素の排出量の削減			
(1) 自動車燃料使用量の削減			
①無用なアイドリングをしない。	○	○	○
②車間距離を守り、急加速、急減速をしない。	○	○	○
③冷暖房を控え目にする。	○	○	○
④低燃費車に更新する。	○		
(2) 電気使用量の削減			
①不要照明の消灯。	○	○	○
②外灯タイマー時間の調整。	○	○	○
③エアコンの冷暖気運転抑制。	○	○	○
④節電表示を貼る。	○	○	○
⑤エアコンフィルター清掃を定期的に行う。	○	○	○
⑥エアコン室内温度設定を 夏28℃ 冬20℃に設定。	○	○	○
2.一般廃棄物の削減			
①ゴミ分別を徹底する。	○	○	○
②ミスコピーの防止に努める。	○	○	○
③ミスコピーの裏紙使用。	○	○	○
④LAN活用による事務の合理化。	○	○	○
3.水資源の削減			
①給水栓付近に節水呼びかけ表示をする。	○	○	○
②雨水タンクの設置。	○	○	○
③雨水を植木や洗車に利用する。	○	○	○
④節水こまの取り付けを行う。	○	○	○
4.原材料及び事務用品のグリーン調達			
①事務用品購入の際、グリーンマークの確認	○		
5.環境配慮製品の開発・販売促進			
①環境学習・視察等での宣伝	○	○	○
②地域農家などへの営業活動	○	○	○

【次年度の取り組み】

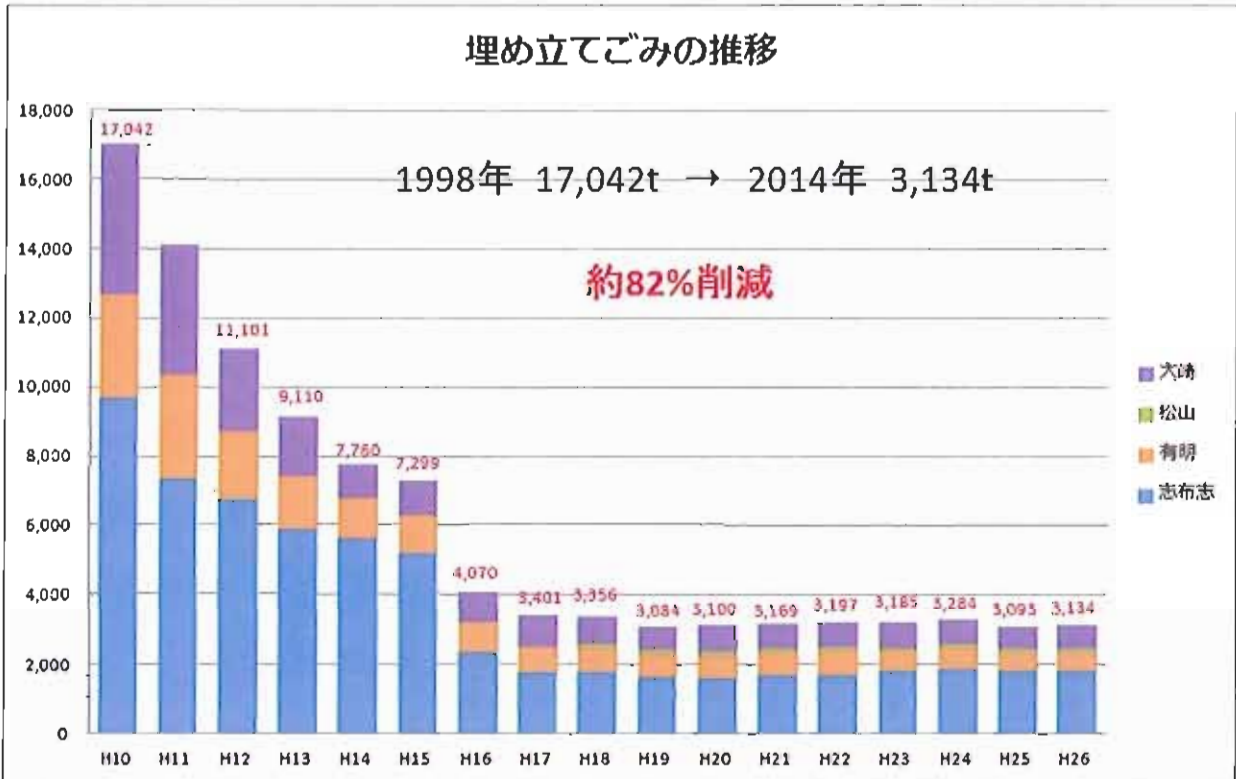
基本的には、本年度の取り組みを継続して行きますが、リサイクルセンターでは廃棄物の排出量が未達成、大崎有機工場では廃棄物の排出量と製品の開発販売が未達、松山有機工場では製品の開発販売が未達であった事から、取り組みを強化すると共に目標設定の見直しを検討します。

Ⅳ 中間処理による埋立ごみ量の削減

志布志市・大崎町はごみ焼却場が無く、全てのごみは資源化と埋立で家庭ごみを処理しています。その資源化の中間処理をそおりサイクルセンターで行っています。

現在は、80%以上が資源化され、住民・行政・当りサイクルセンターによる地域循環型のしくみが出来ています。下記グラフは、家庭などからでるごみの埋立量の削減推移の実績です。

志布志市・大崎町の埋立てごみ量の推移



<効 果>

1. 行政のメリット

焼却処分すると約35円～50円の処理費がかかるが、堆肥化することにより、生ごみで約15円、草木で約12円の処理費で大幅なコストダウンになっています。また、有機堆肥は、有料で販売しています。

2. 地域住民のメリット

埋立ごみの週3回の回収から、生ごみは週3回の回収になっています。悪臭の防止や動物によるごみステーションの散乱が少なくなりました。

3. ごみ処理費の比較（一人当たり）

日本全体	14,400円/人
鹿児島市	8,117円/人
志布志市	8,084円/人
大崎町	7,398円/人

出展：環境省平成25年度「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」より

V 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21への取り組みにより、全職員の環境に対する意識が高まりました。環境マネジメントシステムも一部の取組から全体へと広がっています。今後も継続して全員参加で取り組む活動になるようにシステムを強化して行きます。

環境負荷削減では、そおりサイクルセンターは、一般廃棄物の削減が未達でした。大崎有機工場では、一般廃棄物の削減・製品の開発販売が未達、松山有機工場では製品の開発販売が未達でした。

今後の取り組みを強化する必要があります。

製品の開発販売を行政や地域農家などと協力し販売先の確保を行い、目標達成出来るように活動を強化して行きます。

また、一般廃棄物の削減では、社員への周知を行い、意識向上を目指していきます。今後もエコ意識を高め、地域と共に環境対策に取り組んでいきます。

VI 平成25年度環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無 法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は次の通りです。

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 処理実績報告
	一般廃棄物中間処理業	
	産業廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 マニフェスト発行管理 処理実績報告
	産業廃棄物中間処理業	
消防法	メタノール	少量危険物貯蔵届出 維持管理
	BDF（代替燃料）	
	軽油	
環境保全協定書	角堂自治会	協定 騒音など測定結果報告 異常時の連絡、他
	学校区自治会	
	村岡団地	
	桃木自治会	

環境関連法規制等の順守状況を評価した結果、環境法規制等の逸脱はありません。
また、過去3年間にわたって法的違反や訴訟、苦情はありません。（平成27年3月末現在）

Ⅶ 平成26年度地域環境活動の記録・その他の活動・環境活動の事例

①会社周辺の清掃活動

(毎週月曜日、木曜日、散乱ゴミ拾い)

②環境学習

(農業体験、自然体験)

③フリーマーケット(各町祭り)

古布・古本販売

職場体験(JICA事業)



以上